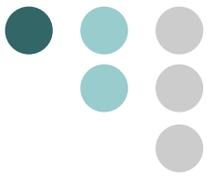


【マルチメディア文化論】

- パソコンの特徴と機能 -

2004年度 第4回

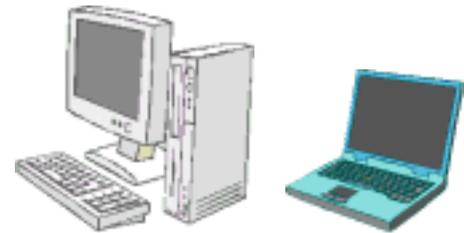
太田 信宏



1. パソコンとは

パーソナルコンピュータ Personal Computer

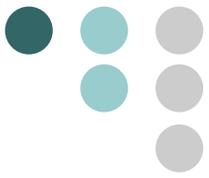
個人用コンピュータ



「パソコン」という呼び方は日本語

「Computer」を日本語で言うと 電子計算機

「コンピュータ」は何をする機械か？



2. パソコンの特徴

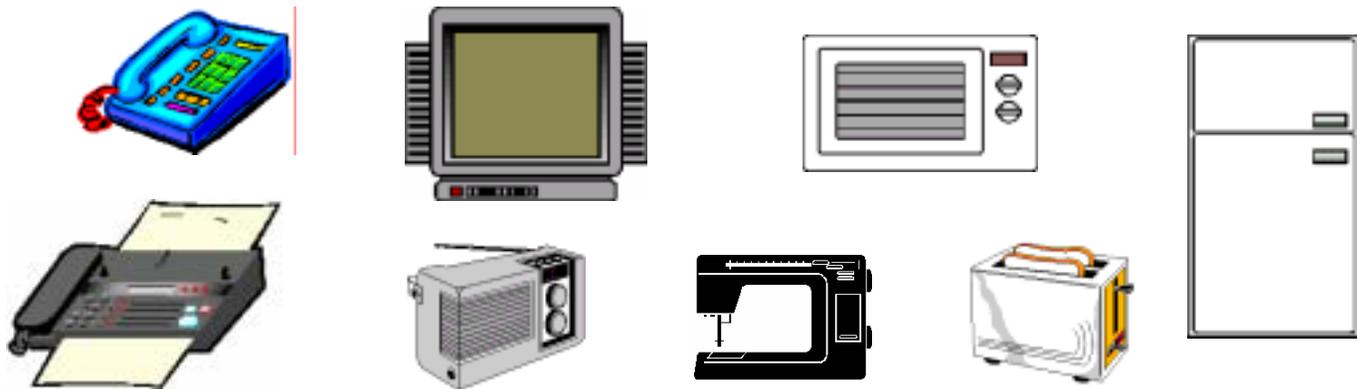
汎用性

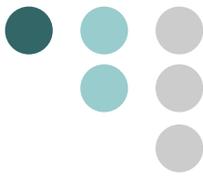
汎用はんよう
(多目的)

専用
(目的が1つ)

身の回りにある機械

多くは専用機械





汎用性(続き)

【パソコンでできること】

1. 文書作成(ワープロ)
 2. インターネット
 3. メール
 4. お絵かき
 5. ゲーム
 6. 写真編集(デジカメ)
 7. CDプレーヤー
 8. 電話機能
 9. FAX
 10. はがき作成
 11. テレビ機能
 12. ビデオ録画・編集
 13. 家計簿
 14. 百科事典・辞書
 15. 作曲・演奏
 16. プログラム作成
- ;

高速性 (パソコンの特徴)

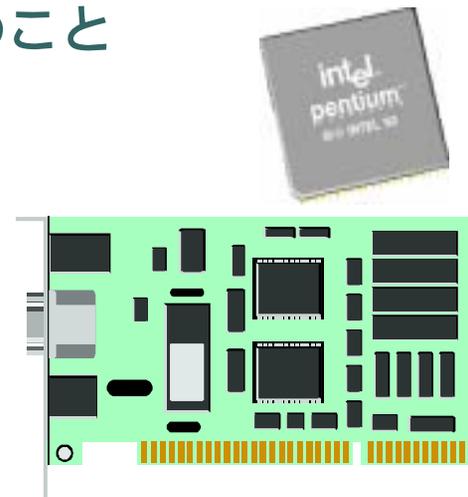
計算や処理を**超高速**で行うことができる。

CPU(中央処理装置)の性能向上

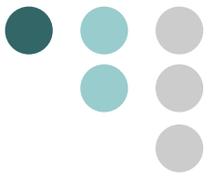
パソコン内部にある電子部品のこと

< CPUの例 >

- ・ Pentium (インテル社)
- ・ Celeron (インテル社)
- ・ Athlon (AMD社)
- ・ G4 (アップル社) など



パソコン紹介 (ヨドバシカメラ <http://www.yodobashi.com/>)



高速性 (続き)

CPUの性能例

ペンティアム 2.4GHz (ギガヘルツ) のパソコン

- 1ヘルツ(Hz)とは・・・ 1秒間に1回の計算ができる能力
- 1メガヘルツ(MHz)とは・・・ 1秒間に100万回の //
- 1ギガヘルツ(GHz)とは・・・ 1秒間に10億回の //

つまり、2.4ギガヘルツでは・・・

1秒間に 2.4×10 億回の計算が可能

($2.4 \times 1,000,000,000$)

すなわち 1秒間に24億回の計算ができることになる。

記憶性 (パソコンの特徴)

大量データの記憶 (保存) が可能

記憶できる大きさ (容量) は媒体によって異なる。

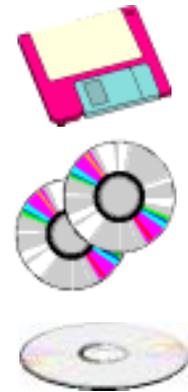
(例) ディスク 1 枚の容量

- F D 1.4MB (メガバイト)
- C D 650 ~ 700MB
- D V D 5,000 ~ 17,000MB

F D < C D < D V D

- 記憶の単位 = バイト (byte)

半角 1 文字 = 1 バイト 全角 1 文字 = 2 バイト





正確性 (パソコンの特徴)

決められた手順 (**プログラム**) を忠実に実行

Programとは

プログラム、番組表、予定表、進行表

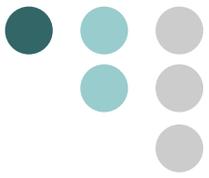
作業の内容、手順、実行順序などを示したものの

プログラム = ソフトウェア (ほぼ同義語)

実行を何度繰り返しても、常に同じ結果になる

指定を間違えるとどうなる？

常識は通用するか？



正確性 (続き)

【 誤操作の例 】

ワープロで作成した長編小説の120ページ目を、
1枚だけ印刷したい。

ページ番号
部数

正

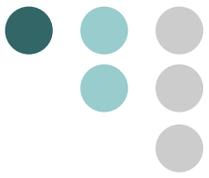
120
1

誤

1
120

表紙だけが120枚も、印刷
されてしまう

… 常識が通用しない



3. パソコンとワープロの比較

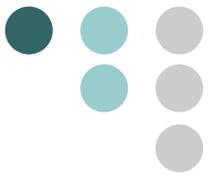


Personal
Computer



Word
Processor

	パソコン	ワープロ
キーボード	標準キー	専用キー付き
プリンタ	別に購入する	本体に付属
汎用性	高い	低い



3 . パソコンとワープロの比較 (続き)

- ・ パソコンもワープロも、どちらもコンピュータであることに変わりはない。
- ・ ワープロは文書作成のため（だけ）のコンピュータである。
- ・ パソコンの方が多目的（汎用性が高い）。

4 . コンピュータは何をする機械か？

【今日の結論】

(マルチメディア) 情報を処理する機械である。